

令和6年度 第3回

安 城 市 博 物 館 協 議 会

令和7年2月5日（水）

午後1時30分～

歴史博物館・講座室

1 あいさつ

2 協議事項

（1）令和6年度開催済事業報告

（2）令和7年度事業計画（案）

3 その他

安城市博物館協議会委員

(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

	氏 名	選任区分	備 考
会 長	高 山 忠 士	学 識 経 験 者	
副会長	加藤 りせ子	社 会 教 育	
委 員	松 永 博 司	学 校 教 育	
委 員	荒 井 信 貴	学 識 経 験 者	
委 員	市 川 と し 子	学 識 経 験 者	
委 員	平 岩 政 志	公 募 委 員	

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。
 わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
 生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
 この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

(1) 令和6年度開催済事業報告

ア 利用状況

(ア) 月別入館者数 ※12月31日までの入館者数

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人	計	大人計	合計				
			中学生以下		中学生以下計					
4	193	193	911	1,138	1,104	1,331	354	4	569	2,258
			227		227					
5	291	291	1,581	2,807	1,872	3,098	1,274	6	528	4,906
			1,226		1,226					
6	184	184	1,458	3,518	1,642	3,702	621	5	365	4,693
			2,060		2,060					
7	2,522	2,522	1,601	2,685	4,123	5,207	3,900	29	322	9,458
			1,084		1,084					
8	4,331	4,331	3,221	4,551	7,552	8,882	8,751	37	238	17,908
			1,330		1,330					
9	1,797	1,797	1,382	2,160	3,179	3,957	2,764	4	367	7,092
			778		778					
10	1,302	1,302	1,128	1,606	2,430	2,908	1,123	9	1,359	5,399
			478		478					
11	823	823	817	1,823	1,640	2,646	415	11	405	3,477
			1,006		1,006					
12	969	969	891	2,051	1,860	3,020	3,971	15	723	7,729
			1,160		1,160					
計	12,412	12,412	12,990	22,339	25,402	34,751	23,173	120	4,876	62,920
			9,349		9,349					

(イ) 利用形態別入館者数 ※12月31日までの入館者数

月	企画展 観覧者	常設展 観覧者	講演会	歴博講座	体験講座	連続講座	入門講座	自主事業	歴博イベント	歴博演芸場	企画展 関連イベント	文献資料室	その他	延べ利用者 合計
4	999	332	0	0	0	27	0	0	89	0	238	4	569	2,258
5	2,134	964	37	0	333	29	0	0	27	0	848	6	528	4,906
6	2,525	1,177	0	16	0	28	0	0	27	0	550	5	365	4,693
7	3,108	2,099	58	0	48	0	0	0	0	0	3794	29	322	9,458
8	5,514	3,368	0	18	30	0	0	181	0	42	8480	37	238	17,908
9	2,134	1,823	56	0	0	0	0	30	39	0	2639	4	367	7,092
10	1,819	1,089	44	0	0	10	0	60	100	193	716	9	1359	5,399
11	1,061	1,585	0	40	32	0	0	38	0	0	305	11	405	3,477
12	1,702	1,318	43	72	12	25	0	0	0	0	3819	15	723	7,729
計	20,996	13,755	238	146	455	119	0	309	282	235	21,389	120	4,876	62,920

その他内訳

部屋利用等	1,463人	職場体験	(延べ) 100人
安祥文化のさとまつり	790人		
博物館実習	(延べ) 18人	多目的利用	2,505人

イ 収集・保管活動

(ア) 資料整理状況

a 寄贈資料群 7 件

- ・川島町西心寺資料（近代、軍用防寒具）
- ・今本町神谷家資料（近代、資料）
- ・アンフォーレ課移管資料（近代、安城高等女学校関係）
- ・新美南吉に親しむ会寄贈資料（近代、新美南吉関係）
- ・尾崎町神谷家資料（近代、碧海郡農会報類）
- ・横山町横井家資料（近代、官報類）
- ・今本町神谷家資料（近代、教育関係・事務文書類）

b 購入資料 2 件 2 点

- ・三河国絵図 1 点
- ・遠江三河駿河甲斐信濃伊豆相模武蔵大地震之図 1 点

c 借用・調査資料 4 件 910 点

- ・川島町西心寺資料（近代、和装本） 文書史料 788 点
- ・上条町水分神社資料（近代、白山媛神社関係） 文書史料 22 点
- ・上条町後藤家資料（近世、神光寺関係） 文書史料 79 点
- ・上条町黒野家資料（近世、近代、神光寺関係） 文書史料 21 点

d 寄託資料 3 件 1,990 点

- ・上条町内会資料 1,989 点
- ・神光寺白山垂迹曼荼羅（紙本着色） 1 点
- ・神光寺白山垂迹曼荼羅（版本） 1 点

e 整理資料 11 件 文書 4,557 点、民具 86 点 計 4,643 点

- ・高棚町石川家資料（近現代、行政関係資料） 文書史料 383 点 民具資料 3 点
- ・堀内町熊谷家資料（近現代、地券、教員関係） 文書資料 1,281 点
民具資料 22 点
- ・藤井町神谷家資料（近代、みかん農家関係） 文書史料 815 点 民具資料 31 点
- ・博物館ボランティア小林氏資料（近代、教科書関係） 文書資料 24 点
- ・川島町西心寺資料（近代、軍用防寒具） 民具資料 2 点
- ・アンフォーレ移管資料（近代、安城高等女学校関係） 文書資料 31 点
- ・朝日町岡田家資料（近代、岡田菊次郎関係） 文書資料 1,106 点
民具資料 25 点
- ・小川町神谷家資料（瓦） 民具資料 3 点
- ・J Aあいち中央城ヶ入支店資料（近代、棟札） 文書史料 4 点
- ・J Aあいち中央平貴支店資料（近代、看板） 文書史料 2 点
- ・J Aあいち中央旧新田支店資料（近代、棟札） 文書史料 1 点
- ・川島町西心寺資料（近代、和装本） 文書史料 788 点
- ・上条町水分神社資料（近代、白山媛神社関係） 文書史料 22 点
- ・上条町後藤家資料（近世、神光寺関係） 文書史料 79 点
- ・上条町黒野家資料（近世、近代、神光寺関係） 文書史料 21 点

ウ 展示活動

(ア) 常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
5月18日	第6章 村の文化 文人丈山の世界	石川丈山資料の展示
8月8日	第4章 東からの風（安城の中世） 三河真宗の美術	博物館実習生による展示 実習
10月11日	第9章 町から都市へ ゆかりの人物	新美南吉資料の展示

(イ) 特別展・企画展

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
①	企画展	安城の今昔5 はたらく道具 たち 一職人の仕事道具一	4月13日 ～6月30日	7,000人	5,658人
②	特別展	ごろごろまるまるネコづくし	7月13日 ～9月8日	9,000人	10,606人
③	特別展	国絵図の世界―描かれた江戸 時代の三河―	9月28日 ～11月10日	3,800人	2,948人
④	特別展	地震と災難―宝永地震から三 河地震まで―	11月30日 ～1月19日	3,800人	3,388人
⑤	企画展	季節を祝う	2月8日 ～3月23日	3,000人	未
合 計				26,600人	22,600人
参考（5年度）					35,264人

③ 特別展「国絵図の世界―描かれた江戸時代の三河―」

a 会 期 令和6年9月28日（土）～11月10日（日） 実開館日40日

b 観覧者数 2,948人【目標3,800人】 1日平均74人

c 期間中の催し物

主なものは「エ 教育普及活動」（8ページ～）に記載

d 音声ガイドの利用状況 25人（利用率8％）

e 展示図録 800部発行 販売数269冊

f 展示について

（a）展示点数30点

（b）江戸幕府の国絵図作成の流れを説明した後、三河国絵図の内容を深める構成とした。

（c）三河国絵図に焦点を当てた展示は、他館も含め初めてだった。江戸時代の国絵図の歴史や役割も含めて、三河国絵図について観覧者に見識を広めることができた。

（d）国絵図作成過程が分かる地域の資料（「上吉田村有文書」や「月瀬村文書」の一部）まで知られている例は他の都道府県でも少なく、今回その掘り起こしをすることができた。

（e）展示室の暗さ、文字の小ささを考慮した観覧の工夫が不十分だった。双眼鏡を用意したが、ネガティブな評価の方が多かった。

g 観覧者について

（a）市外在住の40代から60代のリピーターが主要層。

（b）展示室には常に観覧者がいるように見えたので、観覧者数が多いように見えたが実際には多くなかった。このことから、観覧者の滞在時間が長かったと推測できる。展示テーマに関心が強く学習意欲の高い方が多かったというアンケート結果とも一致する。講演会・講座の参加人数の多さや観覧者との会話からも学習意欲の高さが実感できた。

h PRについて

（a）10月13日の中日新聞と11月7日中京テレビの夕方ニュース後に観覧者が増えており、宣伝効果が高かった。

④ 特別展「地震と災難—宝永地震から三河地震まで—」

a 会 期 令和6年11月30日（土）～令和7年1月19日（日） 実開館日 38 日

b 観覧者数 3,388 人【目標 3,800 人】 1 日平均 89 人

c 期間中の催し物 主なものは「エ 教育普及活動」（P8～）に記載

d 音声ガイドの利用状況 335 人 （利用率 10%）

e 展示図録 800 部発行 販売数 363 冊

f 展示について

（a）展示点数 204 点

（b）江戸中期から昭和戦中期の地震をとりあげ、地元にとどまらず日本各地の様々な地震被害と二次災害を紹介した。一方で、三河に関係する資料も随所に展示を行い、他地域で発生した地震でも、三河にも影響があったことも併せて紹介した。また、展示資料が多いため、こまめに地震ごとのまとまりがわかるパネルを配置したり、注目してほしい史料には翻刻や現代文を置くなどの工夫をした。

（c）展示の対象とする地震の数も多く、様々な地域の資料を選択したため、資料点数が多くなり、動線が混乱した部分があった。

（d）これまでの地震を扱った展示では、周辺地域の地震のみを取り上げていることから、日本各地の大きな地震を集め、各地震を比較できるという独自性があった。地元だけではなく、他地域の被害を知るきっかけを提供したという点で展示を行った意味があると考えられる。

g 観覧者について

（a）最終観覧者数は 3,388 人であり、目標達成率は 89.2%と高い数字になった。

県内（市外）からの観覧者が最も多く、年代では 50 代、性別では男性が多かった。

（b）展示期間の前半では、展示テーマに興味を持ち勉強のために来館している層が多かった。展示期間の後半、特に 1 月中旬には各メディアで阪神淡路大震災等の地震が取り上げられることと比例して来館者の数が急増した。展示期間の後半では親子連れ等の年齢の低い層の観覧者が多くみられた。

h PRについて

（a）三河地震から 80 年に向けて、読売新聞、朝日新聞、中京テレビ等の多くのメディアからの取材を受けた。さらに、キャッチネットワークの番組では展示準備からの取材を受け、展示を知ってもらう機会を増やすことができた。

（b）地震への関心が高まる 1 月に指定管理者によるウェブ広告の掲載も効果があり、今まで来館したことが無い層にも展示を観覧してもらうことができた。

エ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演 題	講 師	聴講者数
5月18日	江戸時代の職人を読み解く	篠宮雄二 氏 (中部大学人文学部歴史地理学科教授)	37
7月13日	浮世絵の猫ブーム	稲垣進一 氏 (国際浮世絵学会常任理事)	34
7月20日	ネコはどうして描かれたか	月本寿彦 氏 (福島県立美術館副主任学芸員)	24
9月29日	国絵図から読む江戸時代	上杉和央 氏 (京都府立大学准教授)	56
10月12日	元禄三河国境縁絵図と元禄日本図	種田祐司 氏 (名古屋城調査研究センター)	44
12月14日	安政東南海地震に学ぶー地震・津波被害の実態理解を通じてー	谷口 央 氏 (東京都立大学人文社会学部教授)	43
1月18日	移住者たちの関東大震災ー被災地・横浜と郷里との関係を中心にー	吉田律人 氏 (横浜都市発展記念館主任調査研究員)	32

合計 270 人

・第14回松平シンポジウム

会場：アンフォーレ ホール 午後1時 資料代 100 円

開催日	演 題	講 師	聴講者数
11月2日	家康は国替なさるべきにおひては関東に替へ給へー家康三河最後の一年ー	コーディネーター 山田邦明 氏 (愛知大学教授) パネリスト 山下智也 氏 (刈谷市歴史博物館学芸員) 佐藤貴浩 氏 (足立区地域文化課文化財係学芸員) 谷口央 氏 (東京都立大学教授)	127

合計 127 人

b 歴博講座・入門講座・連続講座

(a) 歴博講座 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演 題	講 師	聴講者数
6月1日	安城の職人と仕事道具	千田佑香 (本館学芸員)	16
8月17日	猫のおもちゃ絵	野上真由美 (本館学芸員)	18
11月9日	新収蔵！三河国絵図を深掘りする	後藤麻里絵 (本館学芸員)	40
12月8日	資料から見る三河地震	本部はる香 (本館学芸員)	72

合計 146 人

(b) 入門講座 会場：講座室

午前10時 500円 (全5回分、資料代、常設展観覧料含む)

開催日	演 題	講 師	聴講者数
12月15日	知って、楽しい！ やさしい安城の歴史	小田 健二 (本館館長)	中止
1月12日			
2月15日			
3月23日			

(c) 連続講座

「村絵図で巡る安城今むかし」 会場：講座室ほか 午後1時30分 資料代1,500円

開催日	演 題	講 師	聴講者数
4月6日	里村1	高山忠士 氏 (本館元館長)	14
4月20日	里村2		13
5月11日	尾崎村		14
5月25日	上条村		15
6月8日	桜井村1		12
6月22日	桜井村2		16

合計 84 人

(d) 連続講座「安城歴博・中京大学連携講座」 会場：講座室

午後2時 各回200円 (資料代含む)

開催日	演 題	講 師	聴講者数
10月19日	東海地域と顕密仏教—三宝院流の展開を中心に—	小池勝也 氏 (歴史文化学科准教授)	10
12月21日	近世における「王権」争奪戦—将軍と天皇のページェント—	小川和也 氏 (歴史文化学科教授)	25
1月25日	大名庭園の世界—殿様の「御庭」に集う人びと—	白根孝胤 氏 (歴史文化学科教授)	19

合計 54 人

(イ) 指定管理 展示関連イベント

開催日	タイトル	関連展示	実施日	参加人数
4月13日～ 6月30日	はたらく道具たちクイズラリー「じん めんにゃんの見どころクイズ」	企画展「はたら く道具たち」	70日間	718
4月13日～ 6月30日	はたらく道具たちクイズラリー「職人 の技に挑戦！」	同上	同上	612
4月13日～ 6月30日	はたらく道具たちフォトスポット	同上	70日間	219
4月20日	ミニ鯉のぼり染め体験	同上	1日間	19
5月19日	有松鳴海絞り職人による手ぬぐい染め 体験	同上	1日間	48
6月8日	豆たたみづくり体験	同上	1日間	20
7月13日～ 9月8日	猫のステンシルで小物づくり体験	特別展 「ごろごろまるま るネコづくし」	52日間	976
7月13日～ 9月8日	猫のうちわづくり体験	同上	同上	413
7月13日～ 9月8日	まるごと猫づくしクイズラリー	同上	同上	1,424
7月13日～ 9月8日	ごろごろまるまるネコづくしフォトス ポット	同上	同上	3,849
7月13日～ 9月8日	ネコづくしお気に入りの猫総選挙	同上	同上	6,357
7月13日～ 9月8日	猫の撮影コーナー	同上	同上	1,843
8月30日	ナイトミュージアム「ごろごろまるま るネコづくし」夜間展示解説	同上	1日間	中止
9月28日～ 11月10日	クイズで巡る古地図めぐり	特別展 「国絵図の世界」	40日間	109
9月28日～ 11月10日	国絵図の世界フォトスポット	同上	同上	295
9月28日～ 11月10日	国絵図パズルに挑戦！	同上	同上	611
10月26日	展示担当学芸員に教わる国絵図測量体験	同上	1日間	5

10月27日	安祥城址公園フォトウォークラリー	同上	1日間	20
11月3日	展示担当学芸員に教わる国絵図測量体験	同上	1日間	12
11月30日～ 1月19日	地震と災難クイズラリー	特別展 「地震と災難」	38日間	174
11月30日～ 1月19日	地震と災難フォトスポット	同上	同上	560
12月3日～ 1月19日	地震と災難防災グッズ展示	同上	36日間	4,618
12月7日	防災体験デー「みんなでまなぼうさい」	同上	1日間	956
	防災体験デー「災害対策車両展示」	同上	同上	(111)
	防災体験デー「消防車両展示」	同上	同上	(119)
	防災体験デー「けむり体験」	同上	同上	(65)
	防災体験デー「こども消防服を着て写真を撮ろう！」	同上	同上	(69)
	防災体験デー「防災ゲーム体験」	同上	同上	(109)
	防災体験デー「浸水AR体験」	同上	同上	(137)
	防災体験デー「味噌ボールの味噌汁を飲んでみよう！」	同上	同上	(150)
	防災体験デー「ワークショップ 消防アクリルキーホルダーを作ろう！」	同上	同上	(14)
	防災体験デー「アルファ米をGET スタンプラリー」	同上	同上	(182)
12月15日	災害時に役立つ防災クッキング	同上	1日間	18
1月13日	講和「能登半島地震における自衛隊の災害救助活動について」	同上	1日間	23

合計 23,899 人

(ウ) 指定管理 体験講座等

開催日	演 題	講 師	参加人数
5月3日～ 5月5日	鎧の試着会	指定管理者、博物館ボランティア	333
7月26日～ 7月28日	夏休み自由研究相談会	文化振興課職員	48
8月4日	オリジナル風鈴づくり	指定管理者	30
11月2日	昔の遊び体験	指定管理者	32
12月1日	1日子ども学芸員体験会 ① 勉強会	指定管理者、後藤麻里絵（本館学芸員） 協力：安城学園高校 学び探求部	6
12月14日	1日子ども学芸員体験会 ② 学芸員体験	指定管理者、後藤麻里絵（本館学芸員） 協力：安城学園高校 学び探求部	6

合計 455 人

(エ) 指定管理 自主事業

開催日	演 題	講 師	参加人数
8月7日	歴史博物館で和小物づくり体験「重ね刷りでうちわを作ろう」「手作り灯籠を作ろう」	指定管理者	5
8月10日 8月24日 9月7日 9月14日 9月21日 9月28日	本格的な紙甲冑を作ろう！	指定管理者	46
8月12日	猫の回り灯籠づくり	指定管理者	22
8月13日	歴史博物館で和小物づくり体験「和柄のしおりを作ろう」	指定管理者	9
8月18日	歴史を楽しく学べるカードゲーム「Hi!story（ハイスト）」体験会	監修：株式会社Highsto 協力：伊與田塾	122
8月21日	歴史博物館で和小物づくり体験「和柄のしおりを作ろう」	指定管理者	7
10月6日 11月22日	歴史を楽しく学べるカードゲームHi!story 大会&体験会	監修：株式会社Highsto	60 38

合計 309 人

(オ) 指定管理 歴博演芸場 会場：講座室、石舞台 鑑賞無料

開催日	演 題	出演者	参加人数
8月3日	落語会-ごろごろまるまる猫喃-	お好味家喜楽氏 (前座：永頃亭夢雀氏)	42
8月31日	ナイトミュージアム 「和太鼓演奏」	三州輪っ鼓、安祥太鼓	台風の為 中止
9月1日	ナイトミュージアム 「べんてんやちんどんショー」	名古屋のちんどん べん てんや	台風の為 中止
10月5日	安祥文化のさとまつり 「殺陣ショー」	協力：座☆風流堂主宰 楠見彰太郎氏 暮らしの 学校安城アンフォーレ 校・岡崎校、座☆風流堂 岡崎演劇塾、知立カルチ ャーセンター	123
10月6日	安祥文化のさとまつり 「和太鼓競演」	安城太鼓会ほだら ほか	70
1月5日	三河万歳「新春招福の初舞」	安城の三河万歳保存会	53

合計 288 人

(カ) 指定管理 歴博イベント

開催日	タ イ ト ル	参加人数
4月2日～4月12日	歴史博物館クイズラリー	0
4月14日	懐かしの“車” 写生大会	89
5月19日～6月30日	西尾町内会春祭り くじ引きガチャ	29
6月8日～6月30日	古井ふれあいひろば くじ引きガチャ	25
8月31日～9月1日	ナイトミュージアム「博物館ナイトツアー」	台風の為中止
9月1日	ナイトミュージアム「土器ドキ晩ゴハン」	台風の為延期
9月8日に延期	「土器ドキ昼ゴハン」	39
8月30日～8月31日	ナイトミュージアム「マイブנקエスト」	中止
10月14日	安城古代体感デー	100
	安城古代体感デー「考古学なぞとき『マイブנקエスト-太陽の精-白いカラスをさがせ-』」	(22)
	安城古代体感デー「火おこし体験」	(26)
	安城古代体感デー「カラー勾玉づくり体験」	(24)
	安城古代体感デー「缶バッジづくり体験・オープン陶土ではにわづくり体験」	(28)

合計 282 人

(キ) その他

5月19日(日)は、国際博物館の日(5月18日)にちなみ常設展示を観覧無料にする。
11月22日(金)は、愛知県民の日学校ホリデーにちなみ常設展示を観覧無料にする。

(ク) 刊行物

a 特別展・企画展図録(パンフレット)

企画展「はたらく道具たちー職人の仕事道具ー」	A4	8頁	1,600部
特別展「国絵図の世界ー描かれた江戸時代の三河ー」	A4	88頁	800部
特別展「地震と災難ー宝永地震から三河地震までー」	A4	88頁	800部
企画展「季節を祝う」	A4	8頁	1,600部

b 安城歴史研究 第50号(予定) A5 120頁 200部

c 安城市歴史博物館研究紀要 第28号 B5 74頁 400部

d 年報33号 A4 68頁 350部

e 「れきしみち」 全て A4 8頁 2,500部

No.133 7月号、No.134 10月号、No.135 1月号、No.136 4月号(予定)

f 催し物案内

2024年度下半期 10月～3月 87,050部

2025年度上半期 4月～9月(予定) 87,050部

(ケ) 見学学習

a 市内小学校(企画・特別展、常設展、埋文セ)見学

月	日	曜	学 校 名	学年	人数	月	日	曜	学 校 名	学年	人数
6	4	火	二本木小	6	117	9	10	火	作野小	6	96
6	12	水	桜井小	6	163	9	13	金	今池小	6	58
6	25	火	安城東部小	6	95	9	20	金	安城南部小	6	97
6	26	水	桜林小	6	98	10	30	水	新田小	6	58
6	28	金	錦町小	6	100	11	1	金	三河安城小	6	113
7	2	火	安城西部小	6	95	11	5	火	梨の里小	6	91
7	3	水	里町小	6	89	11	12	火	安城北部小	6	128
7	5	金	志貴小	6	41	11	15	金	明和小	6	70
7	10	水	丈山小	6	109	12	4	水	安城中部小	6	107
7	12	金	祥南小	6	43	12	6	金	高棚小	6	44
9	6	金	桜町小	6	89						
小学校児童数 計										1,901人	
参考(5年度)										1,780人	

b 市内中学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月 日	曜	学 校 名	学年	人 数	月 日	曜	学 校 名	学年	人 数
5	9	木 安 祥 中	2	139	11	27	水 安 城 西 中	2	249
5	29	水 桜 井 中	2	243	12	10	火 東 山 中	2	243
6	5	水 安 城 北 中	2	278	12	11	水 明 祥 中	2	141
					中学校生徒数 計				1,293 人
					参考（5年度）				1,281 人

c 市外小中学校（児童・生徒）（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月 日	曜	学 校 名	学年	人 数	月 日	曜	学 校 名	学年	人 数
		なし							
					市外小中学校児童生徒数 計				0 人
					参考（5年度）				0 人

(コ) 中高生の職場体験

a 市内中学校2年生・高校1年生

学 校 名	展示 見学	土器 洗い	土器 づくり	学芸員 講話	見学学 習補助	作業 手伝い	発掘 体験	取材 その他	備 考
篠目中	○	○	○	○	○	○		○	4日間 7名
明祥中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間 1名
	○	○	○	○	○	○	○	○	2日間 2名
安南中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間 2名
桜井中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間 3名
	○	○	○	○	○	○	○	○	2日間 1名
安城高校	○		○	○			○	○	1日間 1名
					参加生徒数 計				17 人
					参考（5年度）				9 人

b 市外中学校

学 校 名	展示 見学	土器 洗い	土器 づくり	学芸員 講話	見学学 習補助	作業 手伝い	発掘 体験	取材 その他	備 考
豊田市猿投中	○	○	○	○	○	○	○	○	2日間 1名
岡崎市翔南中	○	○	○	○	○	○	○	○	3日間 3名
					参加生徒数 計				4 人
					参考（5年度）				0 人

(サ) 博物館実習

博物館学芸員養成講座を持つ大学からの要請により実習を行った。

a 期 間：7月31日（水）～8月2日（金）、6日（火）～8日（木）（6日間）

b 実習生 立教大学1人、三重大学1人、愛知学院大学1人 計3人

c 実習日程

開催日	午 前	午 後
7月31日	博物館業務（講義） 博物館見学	文化財保護行政（講義） 芸術文化行政（講義） 埋文センター・市民ギャラリー見学
8月1日	歴史資料の取り扱い	歴史資料の取扱い 企画展示の流れ（講義）
2日	常設展示室の展示替え	博物館と学校見学（講義） 美術資料の取り扱い
6日	民俗史料の取扱い	民俗資料の取り扱い 常設展示室の展示替え
7日	考古資料の取り扱い	考古資料の取り扱い 常設展示室の展示替え
8日	常設展示室の展示替え	展示替えプレゼンテーション 常設展示室の展示替え

(シ) 出前授業等

月 日	演題	対象	講師	参加人数
6月1日	安城松平	安城ふるさとガイドの会	本部	30
6月13日	安城の職人と仕事道具	安祥公民館高齢者教室	千田	60
7月9日	安城松平と家康について	南部小学校	三島	93
7月11日	安城松平	東部公民館高齢者教室	本部	92
9月14日	安城松平	印内ことぶき会	千田	48
9月27日	三河真宗と安城	二本木公民館	千田	38
10月20日	人面文土器と鹿乗川流域 遺跡群	桜井和祥会	後藤	36
11月17日	人面文土器と鹿乗川流域 遺跡群	新田連合町内会	後藤	33
1月19日	あなたの知らない東海道	北部公民館	三島	15

合計 445 人

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

※1月10日までの参加者数

開催日	活動内容	ボランティアガイド 延人数	参加人数
9月11日～11月28日 (延7日)	一般向け常設展示解説	23	205
5月12日～12月22日 (延16日)	常設展ガイド (第2・4日曜日)	90	226
6月25日～12月6日 (延19日)	見学学習対応 (解説・火起こし補助)	75	1,621
5月3日～12月18日 (延7日)	イベント対応	26	358

合計 214人 2,410人

(イ) 学校教育活動への支援

小学3年生の「昔の道具」学習などに対し、民具資料を貸し出し。(0件)

カ 公園事業

開催日	事業名	参加人数
5月19日	さとのマルシェ	529
6月22日	さとのマルシェ	628
6月22日	さとのマルシェパフォーマンスステージ (ヒップホップダンスMM愛、ハーラウ フラ オカ マ ハロアイ、エル・アモール)	142
8月30日	さとのマルシェ	台風の為中止
8月30日	L'eclat チアダンス	台風の為中止
8月31日	さとのマルシェ	台風の為中止
9月1日	さとのマルシェ	台風の為中止
10月5日	さとのマルシェ	734
10月6日	さとのマルシェ	736
10月14日	さとのマルシェ	384
11月2日	さとのマルシェ	中止
11月30日	さとのマルシェ	437
11月30日	子どもと家族の青空写真撮影会	36
12月7日	防災体験デー「飲食ブース」	120

合計 3,746人

(2) 令和7年度事業計画（案）

ア 令和7年度展覧会

種別	テーマ	期 間	開館日数
企画展	日本デンマークと呼ばれた時代 ー100年前の碧海地域と農業ー	4月19日～6月29日	63日
特別展	空襲に備えよ ー総力戦下の家庭防空ー	7月19日～8月31日	40日
特別展	日本妖怪展	9月13日～11月3日	47日
特別展	三河三白山（仮）	11月22日～1月18日	45日
企画展	収蔵品展 近世の村（仮）	2月7日～3月22日	39日

イ 講座・歴博イベントなど

別紙上半期催し物案内（案）参照

令和7年度特別展開催要項（案）

1 名 称 企画展「日本デンマークと呼ばれた時代ー100年前の碧海地域と農業ー」

2 開催期間 令和7年4月19日（土）～6月29日（日） 実開館日63日

3 主 催 安城市歴史博物館

4 趣 旨

大正から昭和初期の碧海郡一帯は農業の発展が著しく、複数のメディアから「日本デンマーク」と呼ばれるようになりました。

その発展の前史には、明治12年～17年の明治用水の通水だけではなく、その後、開墾され作物が育つ土地へ変化させるために人々の労力がかけられています。このように碧海郡一帯は新しく開墾された土地のため比較的大きな農地が多く、そのことも農業の発展の一助となりました。

碧海郡の農業は、稲作と養蚕などが中心に行われていましたが、養鶏・蔬菜・果実など多角的に生産されるようになり、それを取り扱う農業組合が結成されました。農業組合では、共同購入や生産物の栽培、機会の共同利用などの合理化がすすめられました。中でも碧海郡購買販売組合連合会（通称、丸碧）は厚生病院を設立するなど、購入・販売の枠を超えて、農村生活の向上に寄与しました。

また、県立農林学校や県立農事試験場の技師によって農業教育も行われました。他にも農業補習学校や安城高等女学校では農業実習が行われ、昭和初期には安城町農会が図書館を建設するなど教育の機会が充実していました。

そして、第一次世界大戦後に安城町を中心とする碧海郡一帯は全国から模範的な農村地帯として全国から注目を浴びました。その背景には東海道線安城駅を中心とした交通網の整備や、全国的な都市市場での商品作物の需要の高まりといった当時の社会構造の変化も関係しています。

今回の企画展では、明治期から昭和初期にかけての社会的背景を踏まえつつ、日本デンマークと呼ばれた時代の碧海郡の様子について紹介します。

5 会 場 安城市歴史博物館 企画展示室

6 観覧料 無料

7 展示構成（案）

第一章 農業発展の礎

（1）新しい農地の開墾（2）明治後期の碧海郡の農業

第二章 農業の理想郷 日本デンマーク

（1）多角形農業（2）農業組合（3）農業教育

第三章 日本デンマークの社会的背景

（1）交通網の発展と農業（2）日本デンマークと昭和恐慌

8 関連行事

- (1) 記念講演会「「日本デンマーク」に込められたもの
一人が豊かに生きる場としての農村をつくる」

講師：岡田 洋司氏（愛知学泉大学元教授）

日時：5月17日（土） 14：00～

- (2) 歴博講座「日本デンマークのくらし
―収蔵資料からわかること―」

講師：本部 はる香（本館学芸員）

日時：6月7日（土） 14：00～

9 印刷物

- ・ポスター A 2判、オールカラー、400 枚
 B 2判、オールカラー、700 枚
- ・チラシ A 4判、表面カラー・裏面二色刷り、8,000 枚
- ・パンフレット A 4判、8 ページ、オールカラー、1,600 部